移民研（移民・難民・外国ルーツの人びとに関する研究会）主催シンポジウム

私たちの食卓と外国人労働者
-茨城県不法就労通報報奨金制度が映し出すもの



2026
12.23（水）
13:30～16:30
開　場　13:10～

会　場　茨城大学水戸キャンパス
図書館３階ライブラリーホール
（茨城県水戸市文京２－１－１）
※公共交通機関をご利用ください

参加費　無　料　　定　員　120名（先着順）

申込締切　12/22　事前申込み

（申込URL）https://forms.cloud.microsoft/r/dxRD3eB6rJ

茨城県は2026年5月11日から、県内の不法就労者数を減らすことを目的に、不法就労通報報奨金制度を開始しました。外国人労働者は、全国3位の農業産出額を誇る茨城県の農業に欠かせない存在であり、通報報奨金制度の導入は私たちの食にも深く関わっています。本シンポジウムでは、農業生産における外国人労働者の実態を捉えるとともに、通報報奨金制度の背後にある構造的な問題や制度自体がもたらす影響について多角的に議論し、共に生きる社会をどう築くかを考えます。

13:30　開　会　司会進行：上田 悠久　（茨城大学人文社会科学部）

挨拶：蓮井 誠一郎　（茨城大学大学院人文社会科学研究科長・市民共創教育研究センター長）
ダイバーシティ社会研究コース（新設）の紹介：菅谷 克行（人文社会科学部副学部長：大学院担当）
移民研の活動と本シンポジウムの趣旨：長田 華子（人文社会科学部）

13:55　第 1 部　私たちの食を支える人びと-農業・食品産業と外国人労働者

問題提起：飯田 悠哉(近畿大学農学部)

14:40　第 2 部　不法就労通報報奨金制度が映し出すもの

星 純子(人文社会科学部、地域社会学・台湾の農村研究)
佐藤 邦政(教育学部、倫理学・哲学)
付 月(人文社会科学部、国際人権法)

休憩10分

15:35　第 3 部　共に生きる社会をどう築くか？-パネルディスカッションと質疑応答

長田 華子（ファシリテーター）、飯田 悠哉、星 純子、佐藤 邦政、付 月

16:25　閉　会

挨拶：野田 真里　（人文社会科学部）

注意事項

・当日の会場変更や悪天候等によるイベントの中止の際には、茨城大学公式ホームページのイベント情報に掲載しますので、ご確認ください。
・平日の開催となります。学内の駐車場の利用はご遠慮ください。

共催：茨城大学人文社会科学部市民共創教育研究センター　　後援：茨城大学人文社会科学研究科